

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和4年（2022年）3月15日

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名）阪西 敏

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市山本山手地区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 4.事故がなく、車の渋滞で困ることがないまち
	【具体的な取り組み】 2.道路の安全対策 1 市道3259号(けやき坂通)の凍結防止策の実施 2 市道3259号の交通事故撲滅対策 3 市道3259号の改善についての協議
取組内容の関係課	道路管理課 防犯交通安全課

2 対話の状況

<p>(1) 実施概要</p> <p>ア 日時： 令和4年（2022年）1月31日 13：30～15：30 オンライン形式（Microsoft Teams 利用）</p> <p>イ 場所： 山本山手Cokoセンター（山本山手地区まちづくり協議会関係者） 宝塚市立中央公民館（宝塚市関係職員）</p> <p>ウ 出席者： 以下のとおり ＜まちづくり協議会＞ 宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 ●● ＜関係課＞ 道路管理課 豊田係長、石川職員 防犯交通安全課 橋詰係長 ＜協働の取組推進担当次長＞ 政処部長 ＜市民協働推進課＞ 新城課長、岡田係長、阪西職員</p>
<p>(2) 確認できたこと</p> <p>山本山手地区まちづくり協議会から写真および書面にて提供のあった市道3259号の危険箇所10箇所について、宝塚市関係課の対策内容案を記した資料を事前に共有した上で、本日、2回目の対話を実施した。 また、事故情報の提供についても、2回目の対話を実施した。</p> <p>ア 危険箇所10箇所については、別紙「道路の危険箇所一覧_対策内容（案）_対話結果」に記載の通り。</p> <p>イ 事故情報の提供については、まち協から市へ、交通事故の発生場所や原因などの情報が欲しいとの話があったことを受け、事前に市からまち協へ提供にかかる条件を示していた。この条件について、まち協が承認され、まち協から市へ提出する依頼文の参考様式について、市から提供することとなった。 →令和4年2月4日に市からまち協へ、参考様式を提供した。 また、まち協の広報誌等に、宝塚警察署から提供の資料等を用いる場合には、事前にまち協から市を通して宝塚警察署に内容確認を依頼することとし、その確認等に日数を要することを確認した。</p> <p>ウ 次回の対話時期は、上記の進捗状況や、年度替わりに伴うまち協の体制更新等も見据えながら、改めて検討することとなった。 また、対話方法としては、本日のように事前にまち協の考え方と市の考え方をまとめた上で、行うこととした。</p>

1 対話日時

令和4年(2022年)1月31日 13:30-15:30

2 道路の危険箇所一覧と対策内容(案)

山本山手コミュニティから示された危険箇所・理由・対策案			市が提案する対策内容(案)		対話の中で確認できたこと
番号	路線名	危険理由	対策内容(案)	市の関係課	
1	市道1001号線 市道1247号線	平井山荘へ車で入る際の主要道路だが、見通しの悪い3差路である。また、状況によっては3差路内で車が動けなくなり歩行者への危険性も発生する。	令和2年度に平井山荘自治会から相談があり、平井山荘側に路面標示「踏切注意」を新設しました。 追加対策について、対話が必要であると考えます。 踏切北側の2本の道路については、北東側が優先道路です。優先道路ではない北西側道路を通行する車両が、北東側道路の進行を妨げず、最徐行するなどの注意を払う必要があることから、北西側道路に注意喚起の看板設置や道路標示等を検討することが妥当と考えます。	防犯交通安全課 道路管理課	市からは北西側道路への注意喚起看板の設置や、ドットライン(停止線のようなもの)を道路面に表示するといった提案を行った。それに対して、まち協としては現在、平井山荘自治会とも協議中であるため、改めてまち協で検討することとなった。
2	市道3259号線 市道3553号線	長尾幼稚園の園児及び保護者が多く通園で使用している横断歩道であるが、一部防護柵の無い箇所がある。 園児が通る時間帯は車の通行量も多く危険であるため、防護柵の取り付けを望む。	現状では防護柵要望箇所が歩行者等の動線上となるため、公安委員会と横断歩道の位置をずらすなどの調整が整えば、防護柵を設置します。	道路管理課	市から、兵庫県公安委員会と調整ができれば、令和4年度に防護柵を設置したいと提案した。 市の提案に対して、まち協としては前向きながらも、長尾小学校・長尾幼稚園・ジオマンションにも影響するので、改めてまち協で検討することとなった。
3	市道3259号線 市道4228号線	3つの写真のようにけやき通りに合流する際の見通しが悪く、事故が発生しているため危険である。 右側(北側)からくる車を確認する際電柱が邪魔である。	電柱については、関西電力の所管になり、道路幅などの改良工事により支障となる場合は、移設が可能となります。 当該路線は改良工事の計画がなく、道路管理者が移設を依頼することはないため、地域から関西電力へご相談いただけないでしょうか。	道路管理課	関西電力の窓口を市からまち協に伝え、まち協から関西電力に移設を打診することとなった。 →令和4年2月4日に市からまち協へ、関西電力窓口を伝達した。
4	市道3259号線	写真箇所上の交差点から下に下る車でスピードを出したままこの横断歩道を通過する車が多いが、お年寄りや子供などの歩行者も多く大変危険である。 さらにこの道路を車で通過する際横断歩道にいる歩行者が見えにくい。 また、山本台からこの道路に出る際は、見通しも悪く事故が発生している。 下線3点の改善を望む。	本交差点には「学童多し注意」「スピード落とせ」の注意看板を既に設置しています。 スピード抑制対策として、長尾山トンネルの市街地側のように薄層カラー舗装を施工する場合は、数ミリ程度の段差ができるため、騒音や振動が発生する恐れがあります。地域内で沿道にお住まいの方々と意見を調整していただき、整えば施工することは可能です。 見通しの改善については、木の伐採が効果的であり、地域内で意見を調整していただき、整いましたら伐採します。	防犯交通安全課 道路管理課	市の提案について、改めてまち協で検討することとなった。
5	市道3259号線 市道3580号線 市道3718号線	山手台小学校の通学路になっているが、通学時間帯は交通量も多い。スピードが出ている車も多いため危険である。 スピードがでない工夫と、1つ下の交差点同様交差点の横断歩道4箇所に防護柵の設置を望む。	歩行者等の動線に支障とならないため防護柵の設置を進めます。	道路管理課	市の提案について、市から直接、長尾小学校関係者にイメージ図等を添えて説明し、進めていくことになった。 →令和4年2月4日に市からまち協へ、学校側への説明資料(イメージ図等)を提示。施工時期が分かり次第、市からまち協へ連絡することとなった。

山本山手コミュニティから示された危険箇所・理由・対策案			市が提案する対策内容(案)		対話の中で確認できたこと
番号	路線名	危険理由	対策内容(案)	市の関係課	
6	市道3259号線 市道4228号線	けやき通りに合流する車は見通しが悪い上に歩行者(高齢者や子どもが多い)も多く現状も危険な状態である。複合施設に入ったたり出たりする車で一時的に渋滞が発生しているが、今後阪急バスがこの3差路を循環するようになる。見通しが良くなるように改善を望む。(ミラー設置と木の伐採) 木の伐採については、当該自治会(山手台東自治会)で住民に確認をとるため、その後伐採対応を望む。(住民の反対などにより伐採をしない可能性もあります。)	見通しの改善については、木の伐採が効果的であり、地域内で意見を調整していただき、整いましたら伐採します。ミラーの設置は、現状では設置基準を満たしていないため、木の伐採及びバス循環後に改めて設置の可否について判断します。	道路管理課	樹木伐採について、バス事業者も付近の樹木伐採を希望しているため、市からまち協に、バス事業者が伐採を希望している樹木の位置を伝えたくて、改めてまち協で検討することとなった。 →令和4年2月4日に市からまち協へ、阪急バスからの樹木伐採要望箇所を伝達した。
7	市道3259号線 市道3763号線	上から下へ下る車のスピードが出て大変危険である。それと、けやき通りに合流する際、右側がスーパーの看板と電柱が邪魔で見えにくい状況である。阪急オアシスの看板設置力所の変更と電柱の移設を望む。(阪急オアシスの看板設置力所の変更については、コミュニティで声をかけてみるので、その後変更いただけない場合は宝塚市や警察からの協力を依頼することとする)	電柱については、関西電力の所管になり、道路拡幅などの改良工事により支障となる場合は、移設が可能となります。当該路線は改良工事の計画がなく、道路管理者が移設を依頼することはないため、地域から関西電力へご相談いただけないでしょうか。 阪急オアシスの看板については、民有地の土地利用に関する行政からの指導等は困難です。	道路管理課	関西電力の窓口を市からまち協に伝え、まち協から関西電力と阪急オアシスに移設を打診することとなった。 なお、関連して出席者から指摘のあった、工事終了後にもかかわらず残置されているとおもわれる工事予告看板の撤去について、市で対応することとなった。 →令和4年2月4日に市からまち協へ、関西電力窓口を伝達した。また、当該予告看板を2月1日に撤去した旨も報告した。
8	市道3259号線	事故が多発している。スピードの出し過ぎも多いと思うのでスピードがでないような対応を望む。 ガードレールがあるので人身事故がないが、いつ重大事故が発生してもおかしくない状況であり大変危険である。	当箇所には40キロ規制及び追越し禁止の標識設置、速度落せの道路標示(上り)、「スピード落とせ」看板の設置を実施しています。 スピード抑制対策として、長尾山トンネルの市街地側に薄層カラー舗装を施工する場合は、数ミリ程度の段差ができるため、騒音や振動が発生する恐れがあります。地域内で沿道にお住まいの方々と意見を調整していただき、整えば施工することは可能です。	防犯交通安全課 道路管理課	カラー舗装について、改めてまち協で検討することとなった。また、現在、上り側の道路面に表示されている「速度落せ」の塗装について、下り側にも塗装することを市が検討することとなった。 →令和4年2月4日に市からまち協へ、下り側「速度落せ」の塗装イメージ図を提示。令和4年3月末までに施工予定であることを伝達した。
9	市道3259号線	4の写真の看板で間違っ右折する車が多いため看板の表示を変更することを望む。 山手台東5丁目からけやき通りに入る際、見通しが悪く事故が多発している。 見通しが良くなるように改善を望む。(木の伐採と電柱の移設を望む。) 木の伐採については、当該の自治会(山手台東5丁目自治会)で住民に確認をとるため、その後伐採対応を望む。(住民の反対などにより伐採をしない可能性もあります。)	看板については、表示の変更ではなく新設になりますが、令和3年12月に設置を完了しました。 見通しの改善については、木の伐採が効果的であり、地域内で意見を調整していただき、整いましたら伐採します。 電柱については、関西電力の所管になり、道路拡幅などの改良工事により支障となる場合は、移設が可能となります。当該路線は改良工事の計画がなく、道路管理者が移設を依頼することはないため、地域から関西電力へご相談いただけないでしょうか。	道路管理課	電柱については、関西電力の窓口を市からまち協に伝え、まち協から関西電力に移設を打診することとなった。樹木伐採については、改めてまち協で検討することとなった。また、交差点内の路面標示の追加案(兵庫県公安委員会との協議が前提)について、市からまち協に提示することとなった。 →令和4年2月4日に市からまち協へ、関西電力の窓口を伝達した。また、交差点内の路面標示の追加案を提示したが、引き続き、まち協と市で検討することとなった。
10	市道3259号線	2つの写真であるとおりに、時間帯によっては右折車が複数台交差点中央に出て右折を待つが、信号が赤になるまで右折ができず、赤信号になってから無理に右折する車が多発して危険である。対応を望む。 長尾山トンネルを抜けてこの交差点で左折する車が多いが、左折したあとスピードが出て大変危険である。立て看板などの表示、40キロの表示を大きくすることなどドライバーがスピードを落とすような工夫を望む。	当該箇所の40キロ規制の道路標識については、40キロ規制が開始する場所に設置する必要があることと、また、道路標識の様式が法令で決められていることから、設置場所を移動することや大きさを変更することは困難です。	防犯交通安全課	交差点の信号(右折車)対応、50km規制の範囲縮小、40km規制標識の移設・40km規制の道路面標示の追加等について、管轄が宝塚警察署となることから、まち協から宝塚警察署に要望していくこととなった。

宝塚市山本山手地区「道路の危険箇所一覧（案）」

(1) 地図

